

郡 蒲 崎 い き い 女 男

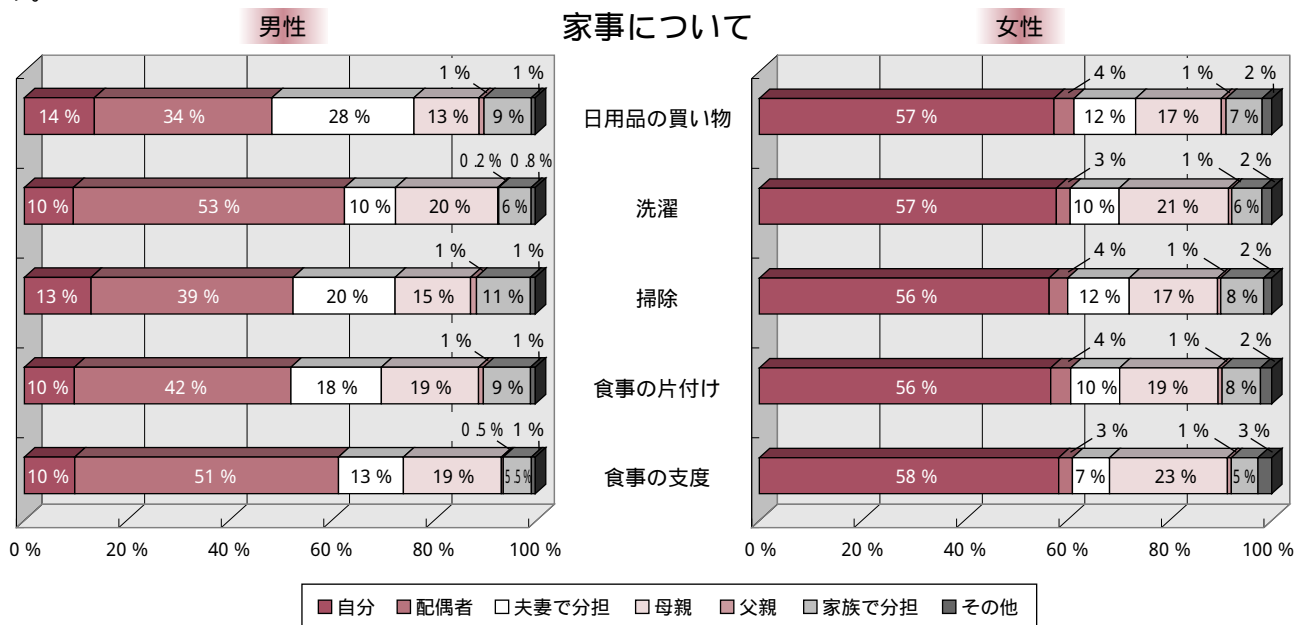
男女共同参画に

家庭での家事5項目、「日用品の買い物」、「洗濯」、「掃除」、「食事の片付け」、「食事の支度」を主にだれがしているのかを調べました

女性は全般的家事で「自分」がもっとも多く、約6割を占めています。

男性はどの家事も「配偶者」がもっとも高い割合を占めており、特に40歳代、50歳代では、「配偶者」の割合が6割から7割近くを占めています。

「家事は女性がするもの」という考え方が男女ともに強く、特に年齢が高くなるにつれてその傾向が強くなるようです。



男女の意識差は？

アンケート結果から、男性は働いている女性に対しても、家事育児をしっかりとやってほしいという考えを持っている傾向があることを強く感じました。

それを裏付けるかのように、女性職員の多くが共働きだと思われるのに、ほとんどの家事を女性が担っています。

男女ともに性別による役割分担にこだわる必要はないと思いつつも、そこから抜け出せずに「男は仕事、女は家庭」という古い考えにしばられている様子が伺えます。

これを解決するには、男性が家事育児に積極的になることや、女性が仕事に対して責任を持って打ち込める環境づくりが大切です。男女ともに、性によるお互いの甘えや押し付けを考え直し、個性を認め合い、思いやることで、一人ひとりが仕事や家庭で自分らしく過ごせるのではないのでしょうか。

行政としては、今回のアンケート結果を踏まえて職員対象の研修を実施する予定です。市役所から男女共同参画を目指すために、まずは職員の意識から変えていきます。